

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 21 年 6 月 26 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	八本松病院におけるガス焚ボイラーおよび GHP の電気式高効率ヒートポンプへの転換による省エネ事業
排出削減事業者名	医療法人社団葵会
排出削減共同実施事業者名	株式会社三井住友銀行 株式会社リサイクルワン
事業実施場所	八本松病院 (広島県東広島市八本松東 2-9-30)
事業の概要	本事業は、病院のGHPを高効率のEHPに更新し、エネルギー効率を改善することで、CO ₂ を削減する。また、給湯設備については、ガス焚給湯機に替えて高効率電気式給湯機を導入することによって、CO ₂ の削減を図る。
排出削減量の計画	346 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 1239tCO ₂)
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 9 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 002 : ヒートポンプの導入による熱源機器の更新 方法論番号 004 : 空調設備の更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：広島県東広島市八本松東 2-9-30 八本松病院</p>
追加性を有すること	<p>本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO₂ 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。</p> <p>また、経済的見地から判断して、本事業が最も魅力的な投資案とはなりえないこと、本事業が実施できない場合には、既存の設備が継続的に使用されることを質問、関連資料の閲覧、及び事業サイト訪問時の既存設備製造年月日の確認等により確認している。</p> <p>投資回収年数計算の根拠データにつき、関連証憑と突合することにより正確性を確認している。</p> <p>本排出削減事業者は、CSR 等環境への貢献に熱心に取り組んでおり、これが国内クレジット制度による事業実施の一因になっている。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>自主行動計画に参加していないことについては、排出削減事業者への質問、関係者への質問、排出削減事業者の提出した誓約書の確認等により、自主行動計画に参加していない事業者であることの確認を実施している。</p>
排出削減方法論に基づいて実施されること	<p>本排出削減事業は、承認排出削減方法論 002 と 004 に基づき排出削減量を計算しており、また、其々の方法論の適用条件を満たしていることを個別に確認している。</p> <p>方法論番号 002 ヒートポンプの導入による熱源機器の更新 適用条件 1 については、既存熱源設備の視察、既存熱源設備の仕様書の確認、ヒートポンプの仕様書の確認等によって、高効率ヒートポンプが導入済みであることを確認している。 適用条件 2 については、事業サイトの視察、全体レイアウト</p>

	<p>図の確認、及び関係者への質問等により、ヒートポンプが施設内の温水供給のために用いることを確認している。</p> <p>適用条件3については、既存の熱源機器が未だ使用可能であることを関係者への質問、視察により確認している。</p> <p>適用条件4については、ヒートポンプで製造された温水が今後自家消費することを視察、全体レイアウト図の確認、及び関係者への質問等により確認している。</p> <p>方法論番号 004 空調設備の更新</p> <p>適用条件1については、既存の空調設備よりも高効率のEHPへの更新であることを確認している。</p> <p>適用条件2については、法定耐用年数を超えていないことを含め、空調設備の更新を行わなかった場合、既存の空調設備を継続して使用できることを現場審査、書類審査等を通じ確認している。</p> <p>適用条件3については、事業実施前後の空調設備のエネルギー使用量が計測できることを、審査を通じて確認している。</p>
--	--

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。

以上